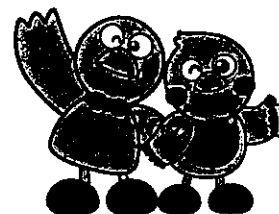


令和元（2019）年度
第50回 関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会

1 大会スローガン

今、時代が変わる 人が変わる そして社会が変わる！

～ さあ動き出せ “学び” の先へ ～



埼玉県マスコット
コバトンとさいたまっち

2 研究主題

あなたはどう生きる？ 人生100年時代！

～ 主役はあなた 明るく心豊かな社会の実現 ～

3 趣旨

2019年は、「関東甲信越静社会教育研究大会」も第50回を迎え、半世紀の節目を数えます。また、元号も平成から新元号・令和に変わりました。まさに新しい時代の幕開けです。

そこで私たちは、この年を『新社会教育元年』と位置付けました。これまで社会教育が歩んできた道のりを見つめ直しながら、『明るく豊かな未来』の実現に向けて、時代に即した新たな社会教育を模索し、行動していかなければなりません。そのためには、私たち自身が学びなおすことが大切です。

「不易流行」。私たちは、これまで積み重ねた活動や培った文化から学び、変わってはならないものは尊重し、より効果的に伝承しつつも、これまで経験したことのない新しい文化や価値観、そして目まぐるしく変化する時代の中で、どのような活動が求められているのか、その在り方や手法を見極め、志を持って学び、行動する使命があるのではないのでしょうか。

輝ける未来の主役はあなたです。本大会は、来たるべき新時代にどう生きるか、一人ひとりの幸せや心の豊かさとは何かを真剣に討議し、新時代に向けた実践の必要性を発信（発信）するため、社会教育について研究・協議することを趣旨とします。

4 主催・共催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、埼玉縣市町村社会教育委員連絡協議会、第50回関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会実行委員会、埼玉県教育委員会、川越市教育委員会

5 後援・協力（順不同）

さいたま市教育委員会、埼玉県公民館連絡協議会、埼玉県PTA連合会、一般社団法人埼玉県PTA安全互助会、埼玉県高等学校PTA連合会、一般社団法人埼玉県子ども会連合会、埼玉県家庭教育振興協議会、埼玉県図書館協会、埼玉県地域婦人会連合会、埼玉新聞社、公益社団法人日本青年会議所関東地区埼玉ブロック協議会、埼玉県博物館連絡協議会、埼玉縣市町村教育委員会連合会、埼玉県町村教育長会、埼玉県中学校長会、埼玉県公立小学校長会、埼玉県高等学校長協会、テレ玉、一般社団法人埼玉県商工会議所連合会、埼玉県商工会連合会、川越商工会議所、株式会社まちづくり川越、生涯学習政策研究会さいたま 他

6 期日

令和元年11月7日（木）～8日（金）

7 会場

主会場 川越市・ウェスタ川越 埼玉県川越市新宿町1丁目17番地17

TEL: 049-249-3777（大会内容に関する問い合わせはご遠慮ください）

〈全体会〉 大ホール

〈分科会〉 ウェスタ川越内各施設

8 参加者 関東甲信越静各都県及び政令指定都市の社会教育委員・社会教育担当職員をはじめ
公民館担当者、社会教育・生涯学習関係者・地域連携を担当する教職員
(本大会への参加を希望する方は、どなたでも歓迎します。)

9 参加費 一人 3,500円(資料代)

10 大会報告書 1冊 1,000円(参加費には含まれていません)

11 大会日程

11月7日(木) 全体会		11月8日(金) 分科会	
全体会(ウエスタ川越)		分科会(ウエスタ川越内各会場)	
11:00	受付開始(多目的ホール)	9:00	受付開始
12:00	歓迎セレモニー(大ホール)	第1分科会	1階多目的ホールAB
12:45	開会行事	第2分科会	1階多目的ホールCD
13:15	基調講演	第3分科会	2階活動室1・2
14:45	休憩	第4分科会	4階大会議室
15:00	シンポジウム	第5分科会	1階講座室1・2号
16:30	休憩	9:15	分科会開始
16:40	大会宣言	12:00	分科会終了
17:00	次年度大会PR(新潟県)	※それぞれの会場ごとに解散。	
17:15	閉会		
情報交換会(川越東武ホテル)			
18:00	受付開始		
18:30	開宴(閉宴予定20:30)		

12 基調講演

演題 「学びがひろく 豊かな人生」

講師 学校法人 文教大学学園 理事長 野島 正也 氏

13 シンポジウム

テーマ 「あなたはどうか生きる? 人生100年時代!」

登壇者
 コーディネーター 加藤 大輔氏(日高市高萩北地区青少年健全育成の会理事)
 アドバイザー 小池 茂子氏(聖学院大学教授・元さいたま市社会教育委員)
 シンポジスト 羽石 貴裕氏(NPO法人彩の国自然学校C'S代表
 ・前埼玉県社会教育委員)
 平野 和弘氏(駿河台大学講師・飯能市社会教育委員)
 田中 悠子氏(快サークルコロネット代表)
 福山 瑞稀氏(本川越駅観光案内所勤務・県内在住大学生)

14 分科会

分科会・会場		実施方法	テーマ
第1分科会	1階多目的ホールAB	事例研究	社会教育の担い手としてのあり方
第2分科会	1階多目的ホールCD		人生100年時代における社会教育の実践
第3分科会	2階活動室1・2	グループ協議	市民と行政のパートナーシップ
第4分科会	4階大会議室		人材発掘、養成、フォローアップのあり方
第5分科会	1階講座室1・2号		社会教育のネットワークづくり

<実施方法についての補足>

- ・事例研究：テーマに沿った事例発表を聞き、社会教育関係者としての資質向上を図る。
- ・グループ協議：小グループに分かれ、テーマに沿って自身の活動や経験を話し合う。

「今、時代が変わる。人が変わる。そして社会が変わる！」

関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会実行委員会

現代社会は、人間の長寿命化（人生100年時代）、人工知能（AI）やIoT（Internet of Things）の進展等の急速な技術革新による「Society5.0」の到来等、目まぐるしい変化の中で、人々の関心も日々変化しています。

こうした中、少子高齢化に伴う人口減少や働き方改革、外国籍の市民の増加など、私たちの日々の暮らし方も変化しています。地域活動においては、地縁組織のあり方が問われる機会も増えていきます。

平成30年12月の中央教育審議会答申では、地域における社会教育の意義と果たすべき役割として、「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくりを提唱しています。

私たちは、長くなった人生をより豊かで幸せに過ごすため、健康長寿の知識のみならず、ライフスタイルやライフステージに合わせた多様な就労のあり方や文化・余暇活動の習得など、多くのことを学ぶ必要があります。

また、社会では情報技術や社会構造の変化を悪用した犯罪やSNSを利用したいじめ、情報リテラシーの低下など、新しい技術の功罪が取り沙汰されることも増えてきました。さらに、地域の特性に応じた防災活動への意識も高まっています。

今後の学びの役目は、個性や一人ひとりの人権を尊重しつつ、地域みんなが力をあわせて新しい時代の技術やネットワークを駆使し、多くの人とつながりながら、社会とともに幸せになる力を身につけていくこと。このことが、地域全体の生きがいづくりにもつながると思うのです。さあ、いまこそ学びの力で新しい社会を創っていきましょう。



★ 分科会のリノベーション ★

いま、地域活動においては、これまで培ってきたノウハウの伝承や組織の維持が課題の一つとなっています。しかし、伝承すべきは活動内容や組織だけなのでしょうか。地域のみんながポジティブに地域づくりに参加できるようなモチベーションを生み出すには、実施する活動を地域に求められる形に昇華する必要があると思います。

今回の分科会では、第1分科会で、地域（自治体）に着目し、社会教育の担い手がどのように地域の学びを構築していくのか、その様子をご覧ください。第2分科会では、様々な主体が実践を通じて様々な世代や地域住民を活動に巻き込んでいく姿をご覧ください。

第3から第5分科会では、それぞれの分科会テーマに基づいて話し合ってください、皆さんのめざす地域像を描いていただけたら幸いです。なお、話し合いが円滑に進むよう、数々の話題をご提供いただきましたので、話し合いの参考としてください。

各事例・話題を、成功例としてそのまま持ち帰り提言するのではなく、自分の住む地域になじむ形にアレンジしていくことで、地域に受け入れられる活動に進化することでしょう。みなさんが行う提言・答申・建議が輝ける地域の未来につながれば、こんなにうれしいことはありません。

（大会全般に関するお問い合わせ）

第50回関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会実行委員会

〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 川越市教育委員会地域教育支援課内

電話 049-224-6086(直通) FAX049-226-4699 メール chiikikyoiku@city.kawagoe.saitama.jp

大会公式サイト <https://kb50th.social-education.saitama.jp/>

実行委員長 西村 平雪 事務局担当 遠藤 大介

関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会 分科会一覧

	分科会テーマ	ファシリテーター	担 当
第1分科会	社会教育の担い手としてのあり方 (事例研究)	久喜市教育委員会生涯学習課 (久喜市) 課長補佐・社会教育主事 渡辺 充範	埼葛地区 協議会
	埼玉県 久喜市	久喜市の特徴ある社会教育事業を発表するとともに、社会教育活動の第一線で活躍している方々によるパネルディスカッションを行います。	
	分科会 構 想	パネラーが、参加者から問題・課題を収集し、久喜市の事例や個々の体験を基に、解決策を探ります。問題・課題を共有し、一緒に考えましょう。	
第2分科会	人生100年時代における社会教育 の実践 (事例研究)	滑川町立滑川中学校 (埼玉県滑川町) 校長 八木原 利幸	比企地区 協議会
	千葉県 浦安市	浦安市における回想法の展開 ～高齢者による高齢者のための回想法ボランティア～ (浦安思い出語りの会)	
	神奈川県 横浜市	市ヶ尾ユースプロジェクト～中高生による、まちと未来づくり～ (NPO法人まちと学校のみらい)	
	分科会 構 想	様々な世代を巻き込んだ地域活動は、地域を元気にする力を持っています。 一人ひとりの未来も大切ですが、地域全体の未来も考えてみませんか。	
第3分科会	市民と行政のパートナーシップ (グループ協議)	NPO法人 みらいず works (新潟県新潟市) 代表理事 小見 まいこ	北埼玉地区 協議会
	話題提供 (埼玉県)	NPO法人さやま生涯学習をすすめる市民の会 (狭山市) 富士見市地域子ども教室 (富士見市) 町ぐるみん白岡 (白岡市)	
	分科会 構 想	市民と行政が関わって地域課題の解決を図る・方法にはどんなものがあるでしょうか。 行政との会議、市民アンケート、NPO法人の設立など、市民と行政のニーズをマッチングさせる方法を探りましょう。	
第4分科会	人材発掘、養成、フォローアップ のあり方 (グループ協議)	さいたま市社会教育委員 (さいたま市) 宮地 孝宜 (東京家政大学専任講師)	大里地区 協議会
	話題提供	家庭教育アドバイザー (埼玉県) 学校応援コーディネーター (埼玉県)	
	分科会 構 想	「くじ引きやじゃんけんじゃない! 地域の担い手は、こうしてつくられる!」 自分が地域の役割を引き受けたきっかけや決心につながった言葉は何でしたか? 「仕事の引き継ぎ、レクチャーの仕方。バトンタッチの良い方法は?」	
第5分科会	社会教育のネットワークづくり (グループ協議)	埼玉県社会教育委員 (埼玉県) 青山 鉄兵(文教大学准教授)	入間地区 協議会
	話題提供	関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会 (茨城県) 子ども大学 (埼玉県) 社会教育委員建議を生かした「ネットワーク会議」の取組 (埼玉県)	
	分科会 構 想	「あなたの地域には、どんなところに人が集まっていますか?」 学校、公民館、お店、誰かの家…。身近なところで人が集まっている場所は。 「人々がつながる力を必要とするのは、どんな時ですか?」 人とつながりを持っていて「よかった」と感じたときはありませんか。	

※皆さんの普段の活動の様子が見えるもの(活動報告・広報等)を持ち寄りましょう。
 ※参加登録後、分科会への参加を取りやめる場合は、お手数ですが大会事務局へお申し出ください。
 少人数のグループ編成に支障が出てしまうため、事前連絡への御協力をお願いします。